<table>
<tr><th colspan="2">第４回　西尾市屋内温水プール整備検討委員会</th></tr>
<tr><td>日時</td><td>令和 7 年 1 月 21 日（火）13 時 30 分～15 時 20 分</td></tr>
<tr><td>場所</td><td>市役所　4 階 41 会議室</td></tr>
<tr><td>資料</td><td>〇次第
〇資料 1　第 3 回西尾市屋内温水プール整備検討委員会　事務局対応方針整理表
〇資料 2　基本構想素案</td></tr>
<tr><td>出席者</td><td>■委員
<table>
<tr><th>所属・団体等</th><th>氏名</th></tr>
<tr><td>名古屋市立大学教授　経済学研究科</td><td>中山　徳良</td></tr>
<tr><td>副市長</td><td>近藤　芳英</td></tr>
<tr><td>寺津小校区代表町内会長</td><td>稲垣　生夫</td></tr>
<tr><td>福地南部小校区代表町内会長</td><td>杉浦　晶彦</td></tr>
<tr><td>一色地区　町内会長代表</td><td>堂嵜　和彦</td></tr>
<tr><td>水泳協会会長</td><td>柴田　隆司</td></tr>
<tr><td>スポーツ推進委員会委員長</td><td>羽佐田　芳和</td></tr>
<tr><td>官民連携による小学校水泳指導調整会議構成員
矢田小学校教頭</td><td>石川　清二</td></tr>
<tr><td>政策専門委員</td><td>杉戸　厚吉</td></tr>
<tr><td>経営改革専門委員</td><td>槇野　孝和</td></tr>
<tr><td>資産経営局長</td><td>本田　正浩</td></tr>
<tr><td>交流共創部長</td><td>石川　孝次</td></tr>
<tr><td>教育部長</td><td>齋藤　武雄</td></tr>
</table>
（高原智博委員、杉山生人委員　欠席）
■事務局
<table>
<tr><td>交流共創部スポーツ振興課長</td><td>高須　清和</td></tr>
<tr><td>交流共創部スポーツ振興課主任主査</td><td>岩瀬　康伸</td></tr>
<tr><td>交流共創部スポーツ振興課主事</td><td>杉浦　光哉</td></tr>
<tr><td>交流共創部スポーツ振興課主事</td><td>高原　功弥</td></tr>
</table>
■アドバイザー
<table>
<tr><td>株式会社建設技術研究所</td><td>畑森　翔紀</td></tr>
<tr><td>株式会社建設技術研究所</td><td>久湊　行起</td></tr>
</table>
傍聴０名</td></tr>
</table>

1 あいさつ

発言者	内容
事務局	ただいまから第4回の西尾市屋内温水プール整備検討委員会を開会いたします。開会にあたり委員長からご挨拶をお願い致します。
委員長	皆様、こんにちは。お忙しいところお集まりいただきまして誠にありがとうございます。第3回委員会では皆様から様々なご意見をいただきました。基本構想をまとめるために、本日も皆様の忌憚のないご意見をいただければと思っております。
事務局	本日は、委員15名中13名の方が出席であり、委員会規則第6条第2項に基づきまして、過半数の方に出席いただいておりますので、本日の委員会は成立しております。議事進行は中山委員長にお願いしたいと思います。よろしくお願い致します。
委員長	初めに報告事項といたしまして、第3回検討委員会での主な意見とその対応について、事務局より説明をお願い致します。
事務局	説明に入る前に、市民の方から、防災の専門家を検討委員会に入れないのか、という意見があったことを前回委員会でお伝えしましたが、その対応として、以前西尾市の津波避難の計画策定に深く関わっていただきました名古屋大学の客員教授の方と、名古屋大学減災連携研究センターの教授の方に意見を伺ってまいりました。お二方のご意見を受け、津波一時退避施設の設置を検討することについて、資料2のp.18に追記しております。 また、前回までの資料において、上位関連計画の関係部分や整備候補地の比較における詳細な資料等については、基本構想本編に含めると全体の構成がわかりにくくなるため、別冊ということでまとめさせていただきました。差し替え資料と合わせて配付しておりますので、後ほどの説明と合わせてご覧いただきたいと思います。

2　第3回検討委員会での主な意見とその対応

発言者	内容
事務局	改めまして報告事項として前回第3回検討委員会の主な意見とその対応について説明いたします。 （第3回西尾市屋内温水プール整備検討委員会　事務局対応方針整理表（資料1）についての説明（-略-））
委員長	ありがとうございます。資料1の報告事項について、何か意見はございますでしょうか。
一同	意見なし

3　基本構想素案について

発言者	内容
委員長	それでは本日の協議事項に移ります。事務局より説明をお願い致します。

発言者	内容
事務局	（基本構想素案（資料 2）についての説明（-略-））
委員	p. 15、図 2-11 の「温水プール施設を利用しない理由」の棒グラフと、図 2-12 の「継続的に温水プール施設を利用しない理由」の円グラフは同様の内容ですが、数値が異なっています。整合を図るべきではないでしょうか。
委員	上記 2 点のグラフは同様の内容を指すのであれば、併記せず、図 2-12 の円グラフは削除することも考えられます。
事務局	ご指摘を踏まえ、わかりやすいように整理いたします。
委員	p. 17、表 2-8 において、「本市南部地域に新たな温水プール施設を整備することを希望している」としており、「本市南部地域への整備を前提とする」等の強い表現にするべきではないでしょうか。
事務局	ここではあくまで、上位計画である「西尾市スポーツまちづくりビジョン 2040」の記載を引用しているため、このような記載となっております。
委員長	表頭に「課題」としてあるのに、内容を「～希望している」としているのは違和感があります。
委員	教育委員会側では場所の決定までは行っていないため、現在の表現に修正していますが、その意図が分かるように整理してもらえれば問題ありません。
委員	表頭を「課題」ではなく「取り巻く環境」とするのはいかがでしょうか。
委員	記載の通り、あくまで教育委員会からの希望として示してはいかがでしょうか。
委員	主語を明記し、「～学校運営サイドからは、～を希望している」と表現してはどうでしょうか。
委員	本文では「南部地域での温水プールの整備が必要」と記載しており、表 2-8 の内容と重複しているため、表 2-8 は削除することも考えられます。
事務局	皆様のご指摘を踏まえ、表 2-8 の内容は誤解を招かない表現となるように修正します。
委員	基本構想素案全体では従来手法も事業手法として考慮に入れているため、p. 19、表 3-1③の具体方策の中の、「民間活力の導入を検討します」を「民間活力の導入も検討します」と修正すべきと考えます。
委員	同表③のコンセプト 3 つ目についても、「民間ノウハウを積極的に活用した事業スキームの構築を行います」ではなく、「民間ノウハウ積極的に活用した事業スキームの構築を検討します」とすべきではないでしょうか。
委員長	③のコンセプトの 3 つ目は不要であると考えます。
事務局	ご指摘を踏まえ、削除いたします。
委員	p. 24、表 4-3「その他」の内容について、直近で出された一色地区町内会長からの意見を記載してはどうでしょうか。
事務局	ご指摘を踏まえ、記載するようにいたします。
委員	p. 29、公共事業である以上、「一色町役場跡地」を選定する視点として「整備コスト」も整備候補地の比較検討の結果の中に含めるべきではないでしょうか。

発言者	内容
事務局	ご指摘を踏まえ修正致します。
委員	p.33、「事業費の精査・財源の確保」において、イニシャルコストだけではなくランニングコスト等も考慮し、「LCC を含む事業費」とすべきではないでしょうか。
委員	LCC を含む事業費のほうが建設費よりも大きいため、重要であると考えます。
委員	p.32、表 6-1 で記載している「事業費」とは建設費のことでしょうか。
事務局	お見込みの通りです。ご指摘を踏まえ、p.33 についてはLCC を含む事業費についても触れることと致します。
委員	p.20、表 3-3 には今後導入を検討する機能について記載がありますが、p.32、表 6-1 の事業費にはそれらの整備費は盛り込まれていません。
委員	事業費の設定については、市民のニーズと、整備コストの削減のバランスをどのように判断するかによると考えます。
委員	p.33 の「今後の課題」の中に、導入を検討する機能に関しては、財政状況に応じて検討する旨を記載すべきであると考えます。
委員	p.20、本文中の「市民ニーズ」については表現を修正すべきと考えます。
委員	p.31、表 5-2 の「PFI 手法」のデメリットとして、「～追加的な費用負担が必要がとなる」とありますが、これは事業者側のデメリットではないでしょうか。
委員	PFI 手法では、民間事業者が特別目的会社を設立するのが必須であり、行政側も費用を負担するため、デメリットではあります。
委員長	全体的に、図表の幅を揃えていただきたいです。また、p.8、表 2-4 中の青字の学校が何を指すのかを明記してください。次に p.18、表 2-10 の「付帯施設（温浴施設、飲食店・カフェ）」および「付帯施設（トレーニングジム）」について、「民間事業者の意向に応じて導入を判断」とありますが、本事業は従来手法の可能性もあるため、表現をわかりやすくしてください。またこれらの項目は、p,20、表 3-3 に記載してある今後導入を検討する機能と整合させていただきたいです。さらに、p.28、表 4-7 の「3.商圏人口」の評価は、「～見込めるか」としてください。
委員	本施設は学校プールの老朽化に応じて、整備が必要不可欠であるという点を踏まえ、整備方針を決めるということが本会議の趣旨と理解しております。
事務局	おっしゃるとおりです。市民に公表するにあたり、誤解を招かないような表現となるよう、本委員会で基本構想素案の内容を議論しております。
委員	p.16、第 2 回検討会議の中で出た意見を踏まえ、もう少し具体に記載すべきではないでしょうか。
事務局	別冊に各事業者の意見を追加する等、表現の見直しを検討致します。
委員長	本編にて、具体に表現をすることで良いと考えます。
事務局	承知致しました。
委員	p.27、表 4-6 の「6.学校プール施設としての送迎のしやすさ」の評価内容として、「各学校における送迎距離・時間の差が少ない」とするのは違和感がありま

発言者	内容
	す。各学校からの平均と最も遠い学校からの距離と時間についても記載するのが良いと思います。
事務局	別冊の p.43、表 3-11 の数値を基に、本編の記載を修正致します。また、p.24～26 の表中の「距離・時間」は「平均距離・平均時間」とします。
委員	別冊資料の名前を変更するのが良いと考えます。
事務局	バックデータという位置づけであるため、「資料編」と見直すこととします。
委員長	素案の誤字脱字、体裁を含め修正点に関しては事務局で対応してください。資料編についても同様にお願いいたします。
事務局	ご指摘のとおり、対応いたします。
委員長	基本構想素案に関する協議は今回が最後となりますので、指摘内容と修正方法について、もう一度事務局から説明してください。
事務局	（指摘のあった内容と修正方法について説明（-略-））
委員長	それでは、ご指摘のありました内容について説明のとおり修正をすることを前提として、基本構想素案を承認することにご異議はございませんか。
委員一同	異議なし。
委員長	異議なしということで承認されました。 なお、字句の誤りや言い回しなど、細かい修正については私に一任をお願いいたします。

4　今後のスケジュールについて

発言者	内容
委員長	本日予定しておりました議題については全て終了いたしました。進行を事務局にお返し致します。
事務局	長時間にわたり熱心にご審議いただきありがとうございました。来年度は一部庁内のメンバーも変更する可能性もございますが、引き続き基本計画についてもご審議をお願いさせていただくことになると思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。 それでは以上をもちまして第 4 回屋内温水プール整備検討委員会を閉会とさせていただきます。ありがとうございました。